

乳腺甲状腺外科

● 概要

乳癌は、乳房にできる悪性腫瘍です。近年、罹患率は増加しており、20 歳代～80 歳代で幅広くみられます。30 歳代から増加し始め、40 歳代後半から 50 歳代前半にピークを迎えます。比較的若い世代で多くなっていますが、最近では閉経後も増えています。

生涯に乳癌を患う日本人女性は、現在 11 人に 1 人と言われ、身近な病気になりましたが、日本では検診受診率は低く、年々死亡率は増加しております。乳癌は早期に発見し、適切な治療を行えば良好な経過が期待できる癌です。40 歳を迎えたら 2 年に 1 度はマンモグラフィー検査を受けてください。しこりなどの自覚症状がある方は検診を待たずに、速やかに受診されてください。

また甲状腺腫（良性・悪性）、甲状腺機能異常の診断、治療も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

● 検査

・マンモグラフィー検査

マンモグラフィー撮影認定技師が検査を行います。月曜日から金曜日までいつでも撮影可能です。

・乳腺エコー検査

毎週水曜日午後に医師が予約制で行っております。日本人に多いと言われているデンスブレスト（乳腺の濃度が高い）の方は、マンモグラフィーのみでは、乳癌を発見しにくい場合もあるため担当医と相談して超音波検査も受けられてください。

市の乳がん検診無料クーポンをお持ちの方（40 歳）は、当院窓口にて直接予約を承ります。それ以外の年齢の方は、中央保健センターで申し込んでいただくと、当院で検診可能です。

（費用は 2400 円かかります。）

・甲状腺エコー検査

毎週水曜日午後に医師が予約制で行っております。

● 専門外来

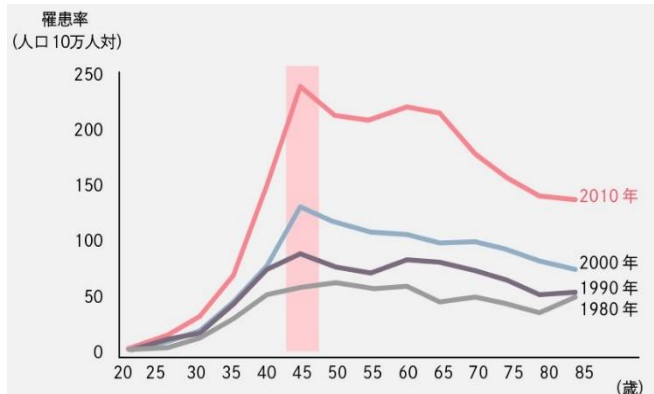
水曜日の午後に、予約制でエコー検査を含めた専門外来を行っております。その他の曜日に関してもご相談ください。



乳がん検診うけていますか？

近年、乳癌罹患率は増加しており、**20歳代から80歳代まで幅広くみられます**。30歳代から増加し始め、40歳代後半から50歳代前半に罹患率の増加が目立ちます。

罹患率は10年前の約2倍になっており、**日本人女性の11人に1人**が乳癌になる時代です。一方、今治市の健診受診率は10.9%程度と少数です。



国立がん研究センターがん対策情報センター「がん情報サービス」より

当院では、乳がん検診を積極的に行っており、

- ♥ マンモグラフィは、月～金曜日までいつでも撮影可能
- ♥ 乳腺エコー検査を含む 乳腺専門外来は、毎週水曜日 午後
(手術等での外科休診日、当院 救急輪番日を除く)

石田 数逸 医師



木村 辰也 技師



気になる方がいらっしゃいましたら、担当医、看護師、受付窓口まで、お気軽にご相談ください。